



プレスリリース

速報版

GENIVI® アライアンス、コンプライアンス 2.0 承認製品を発表

6 つの新製品を新規 GENIVI 2.0 仕様の適合品として承認

米カリフォルニア州サンラモン、 - 2012 年 6 月 5 日 - オープンソースの車載用インフォテインメント(IVI: In-vehicle Infotainment)のリファレンス・プラットフォームの開発と導入を推進する自動車および家電業界団体である GENIVI アライアンスは、新たに 6 つの製品が先ごろ改定された GENIVI コンプライアンス 2.0 仕様の適合品として承認されたと本日発表しました。

GENIVI コンプライアンス 2.0 は 義務付けられるコンポーネントの特定化をさらに推し進め オプションのコンポーネントのいくつかを「必須条件」に盛り込むことで、厳密性の強化を図ります。Linux ソフトウェアは複数のソースからのモジュラーコンポーネントを基本としているため、「配分 (distros)」（こうしたテスト済みコンポーネントの組み合わせを定義する際に使用される用語）間では互換性のないバリエーションが数多く存在します。GENIVI の目標は、適合するすべての配分 (distros) に対する統一性を強化し、各コンポーネントにおける自動車関連の革新的な機能も強化することです。

一般的にアプリケーションおよびサービス開発業者らは、アプリケーションを実行する際に開発者らが依存する基礎的なコンポーネントが確実に利用できるように開発中のソフトウェアにおける正確な配分 (distros) に注意する必要があります。GENIVI が着目しているのはアプリケーションではなくミドルウェアコンポーネントです。このため、多様なメーカー、モデル、ならびに何世代にもわたる自動車において動作するシステムを構築するには、開発者が労力をかけずに明確に定義されたミドルウェアコンポーネントの数を増やす必要があります。

- 続く -

コンプライアンス 2.0 では GENIVI は 29 の必須コンポーネントを定義しており、そのうちの 23 個が明記されています。オプションの機能を加えるとコンポーネント全体の総数は 67 になります。2.0 で特筆すべき点は「(システムデー systemd)」と呼ばれるコンポーネントに設けられた必要条件に加えて、「オーディオマネージャー (AudioManager)」が必須条件に格上げされた点です。

「システムデー (Systemd)」は、立ち上げ時の効率と制御を改良するための新興技術です。電源を完全に切った状態から立ち上げるには数分を要することが広く認知されているスマートフォンなどの携帯機器とは異なり、車載用インフォテインメントユーザー (運転者および同乗者) は、キーを回してから数秒以内にシステムが機能することを期待しています。自動車は電話やパソコンとは異なり、車両バッテリーが上がり自動車のエンジンがかからなくなる恐れがあるため、インフォテインメントシステムを一時停止状態にしておくことは不可能です。

また、本バージョンの仕様には企業方針とは相成れないライセンス供与を自動車メーカーが取り消すという要望を反映する、一般公有使用許諾バージョン 3 (GPLv3) のコンポーネントが含まれていません。透明性を確保するため、GENIVI では承認を受けている GENIVI 仕様のバージョンを提示するよう会員に求めており、以前のバージョンである 1.0 は 2.0 のリリースから一年後にあたる 2013 年の 4 月 23 日をもって有効期限が切れると通達しています。

コンプライアンス 2.0 仕様は、先ごろパリで開催され全会員が出席した会議の場で GENIVI の取締役会により承認されています。この会議には、165 社の会員企業を代表する登録会員 500 名以上が出席しました。

2.0 適合製品を提供すると承認された企業は次のとおりです。アクセンチュア、インテル/サムソン、メンターグラフィックス、モンタビスタ、レネサスおよびウィンドリバー株式会社。GENIVI のコンプライアンスプログラムの詳細については、<http://www.genivi.org/genivi-compliance-program> をご覧ください。

2011 年 8 月に発売された GENIVI のコンプライアンスプログラムは、GENIVI 適合製品で必要とされる提案のための OEM 要件をメンバー企業が満たせるように一連の技術要件の詳細を定義するために作成されました。過去 10 ヶ月において、9 社の会員企業から提出のあった 19 のプラットフォームが GENIVI の当初のコンプライアンス 1.0 プログラムに基づいて適合していると認定されました。

GENIVI アライアンスについて

GENIVI アライアンスは、オープンソース開発の車載用インフォテインメント (IVI: In-vehicle Infotainment) の導入を推進する非営利団体です。GENIVI は、要件を整備し、リファレンス実装を進め、認証プログラムを提供し、活気あるオープンソースの IVI コミュニティを育成することによってアライアンスの目的を遂行しています。GENIVI の取り組みにより、開発サイクルの短縮、製品の市場投入の迅速化、IVI 機器やソフトウェアの開発における企業のコスト削減に

繋がります。会員数は 165 社以上にのぼります。GENIVI(www.genivi.org)はカリフォルニア州 San Ramon(サンレイモン)に本部を構えています。

###

報道関係者お問い合わせ先－GENIVI:

Craig Miner (クレイグ・マイナー)

1.248.840.8368

Cminer1@att.net